

理学療法学科1・2年 作業療法学科1・2年（選択者）

授業科目名	レクリエーション理論
区分	専門基礎分野
学期、コマ	前期 1単位 30時間
成績評価方法	下欄成績評価方法による

授業科目名	レクリエーション理論
学期、コマ	前期 1単位 30時間
担当講師	国近 敏伸
実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 《関連資格 レクリエーションインストラクター 作業療法士》
授業の目的	理学療法・作業療法の視点からレクリエーションの活用と意義を考える。 これからの社会の課題（健康維持・増進、福祉、医療、教育、地域など）を身近な問題として捉え、レクリエーションを活用する視点を養う。
到達目標	対象者に合わせたレクリエーション支援の目的と方法を理解する。 レクリエーション支援が地域社会に貢献できることを理解する。 自主的・主体的に楽しむ力を育む活動の展開方法を考えることができる。
授業の概要	<p>< 到達目標 ></p> <p>1. レクリエーション概論 歴史的背景とニーズを理解する 時代とともに変化した期待される役割を理解する</p> <p>< 到達目標 ></p> <p>2. 3. 楽しさと心の健康づくりの理論を理解する 対象者によって異なる心の元気づくりの課題を理解する 元気と地域のきずなづくりにレクリエーション支援が貢献できることを理解する</p> <p>< 到達目標 ></p> <p>4. 5. 6. 信頼関係が築かれる心理的仕組みを理解する 集団作りの理論、良好な集団が形成される仕組みを理解する 主体的に楽しむ力を育む展開法を理解する</p> <p>< 到達目標 ></p> <p>7. 8. 9. 10. レクリエーション支援のプログラムの組み立てを理解する 対象者に応じたプログラムの立案を理解する リスクマネジメントの視点と方法を理解する</p> <p>< 到達目標 ></p> <p>11. 12. 13. 14. 15. アイスブレイキングのレクリエーションの展開法を身に付ける ホスピタリティの示し方を身に付ける 自主的・主体的に楽しむ力を育む活動について考察する</p>
テキスト 参考書	配布資料 （「楽しさをとおした心の元気づくり～レクリエーション支援の基礎の理論と方法～」を参考） 他
評価の方法	レポート課題 授業ごとの課題（グループワーク）など
授業の形式 受講上の注意	座学と実技 状況によりオンライン講義